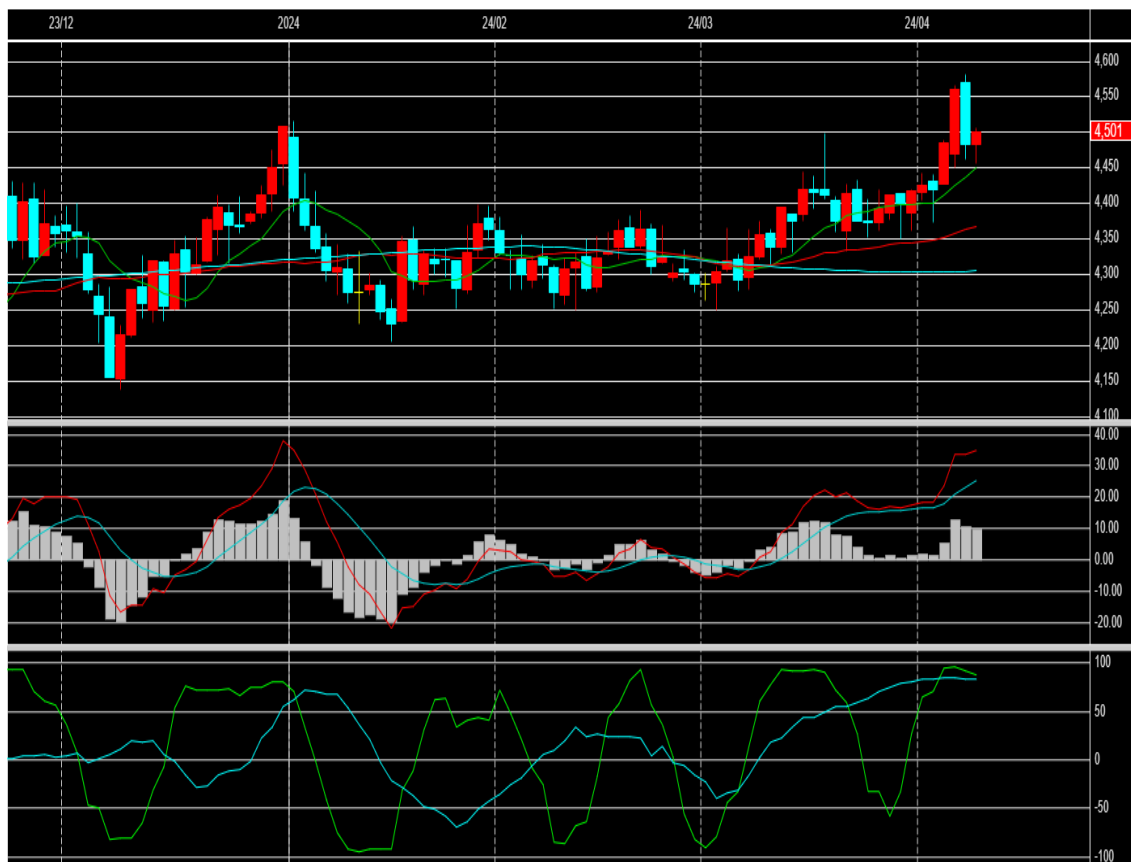


<白金標準、レンジ離脱を確認し 4734 円への上昇基調・・・>



(出所：オアシス)

中国の精錬会社 13 社が銅の精錬を停止する動きに、世界最大の銅生産国チリの生産が低水準であり、カナダやコンゴの生産量が減少している。そのためゴールドマン・サックスは 2025 年までに 65%の価格上昇を予想していると発表するなど、非鉄金属の価格上昇が示されている。そのため NY 市場ではコメックス取引所のプラチナ先物・オプションのショートポジションが 28%減少し、4.3 トンとなるなどショートカバーの動きを見せている。

特に白金標準先物は、昨年 8 月以降 4534 円、4504 円、4517 円と 8 ヶ月のレンジの高値を 4582 円まで押し上げるなど、レンジ離脱を確認している。また下値も 4065 円、4138 円、4206 円、4251 円と切り上げ続けるなど、高値追いへ向けた地道な上昇を続けており、高値更新で次の高値目標が昨年 5 月に期近 4 月限で付けた高値 4739 円に引き上げられるなど、強気相場へ移行する動きに思われる。また既存限月で高値因果玉が存在していた期近 4 月限が、16 日をもって投机ポジションが整理される事など、高値を試す条件が整えば出遅れ感が強い白金だけに短時間で上昇する可能性は強まると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル**も上昇している。RCI は**短期**が上昇し、**長期**も切り上げており、強気を維持している。そのため目先 4582 円に向けた上昇基調が続くように思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 4 月 8 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2024 年 4 月 8 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>